

岩沼市教育委員会
点検・評価報告書
(令和2年度実績)

岩沼市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	1
1 本報告書について	
2 点検・評価実施内容	
II 教育委員会の会議等活動状況	2
1 教育委員会の会議の開催状況	
2 総合教育会議の開催状況	
3 教育機関訪問	
III 事務事業の実施状況・点検・評価	5
岩沼市教育基本方針	5
「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業	6
「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業	12
「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業	14
「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業	16
IV 学識経験者の意見	18

I 点検・評価の概要

1 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、岩沼市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果をまとめたものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価実施内容

岩沼市教育重点目標に基づいて令和2年度に実施した主な事務事業の執行状況について、教育委員会において点検・評価を行いました。

その後、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、学識経験者2名の方から御意見をいただき、あらためて各事務事業を検証しました。

御意見をいただいた学識経験者

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

II 教育委員会の会議等活動状況

○教育長・教育委員（令和2年度在籍）

職名	氏名	備考
教育長	百井 崇	(H25.10.1～)
教育長職務代理者	佐藤 雅晴	(H29.10.1～) (委員 H4.10.9～)
委員	小林 修子	(H24.10.9～)
委員	南館 公雄	(H26.11.1～)
委員	氏家 真由美	(R元.10.4～)

1 教育委員会の会議の開催状況

岩沼市教育委員会会議規則（昭和55年教育委員会規則第2号）第4条の規定により、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じて開催しています。令和2年度は、14回の会議を開催し、41件の議案を審議しました。

開催期日・会議	議案番号	内容
令和2年 4月13日(月) 持ち回り審議	第16号	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る小中学校の臨時休業について
4月16日(木) 定例会	第17号	学校医、学校歯科校医及び学校薬剤師の委嘱について
	第18号	岩沼市社会教育委員の委嘱について
	第19号	岩沼市文化財保護委員の委嘱について
	第20号	岩沼市民図書館運営協議会委員の委嘱について
5月1日(金) 持ち回り審議	第21号	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る小中学校の臨時休業について
5月21日(木) 定例会	第22号	令和2年度における夏季休業日の短縮について(岩沼市立学校の管理に関する規則の一部改正について)
	第23号	岩沼市障害児就学指導審議会委員の委嘱について
	第24号	岩沼市通学路等安全対策推進会議委員の委嘱について
	第25号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第26号	岩沼市青少年室運営協議会委員の委嘱について
	第27号	岩沼市青少年室青少年相談員の委嘱について
6月25日(木) 定例会	第28号	岩沼市学校給食運営協議会委員の委嘱について
	第29号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
	第30号	岩沼市子育てのための施設等利用給付（新制度未移行幼稚園等）実施要綱の制定について

開催期日・会議	議案番号	内容
7月7日(火) 持ち回り審議	第31号	令和3年度使用教科用図書採択希望について
7月30日(木) 定例会	第32号	岩沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	第33号	令和3年度使用教科用図書採択について
8月20日(木) 定例会		
9月24日(木) 定例会	第34号	令和2年度における冬季休業日の短縮について(岩沼市立学校の管理に関する規則の一部改正について)
	第35号	岩沼市教育委員会情報公開条例施行規則の制定について
	第36号	岩沼市教育委員会個人情報保護条例施行規則の制定について
10月29日(木) 定例会		
11月5日(木) 定例会	第37号	令和3年度岩沼市教育委員会予算について
12月17日(木) 定例会	第38号	岩沼市児童生徒等就学援助要綱の一部改正について
	第39号	岩沼市指定文化財の解除について
令和3年 1月21日(木) 定例会	第1号	岩沼市教育委員会点検・評価報告書(令和元年度実績)について
	第2号	岩沼市民会館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
	第3号	岩沼市生涯学習振興基金の処分に関する規則の一部改正について
	第4号	岩沼市指定文化財等保護管理費補助要綱の一部改正について
	第5号	社会教育関係団体事業費補助要綱の一部改正について
	第6号	岩沼市青少年健全育成推進団体活動費補助金交付要綱の一部改正について
	第7号	岩沼市体育・文化振興事業補助金交付要綱の一部改正について
	第8号	岩沼市生涯学習振興事業助成金の交付に関する基準の制定について
2月4日(木) 定例会	第9号	岩沼市教育基本方針及び令和3年度岩沼市教育重点目標について
2月12日(金) 臨時会・秘密会	第10号	県費教職員の任免等の内申について

開催期日・会議	議案番号	内容
3月18日(木) 定例会	第11号	いわぬま子どもの心のケアハウス事業実施要綱の一部改正について
3月24日(水) 臨時会・秘密会	第12号	市職員(管理職)の人事異動について
3月30日(火) 持ち回り審議	第13号	岩沼市教育委員会行政組織規則の一部改正について
	第14号	岩沼市生涯学習振興基金の処分に関する規則の一部改正について
	第15号	岩沼市生涯学習推進本部設置要綱の一部改正について
	第16号	岩沼市教育委員会公印規程の一部改正について
	第17号	岩沼市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

2 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会により、総合教育会議を開催しております。令和2年度は、2回の会議を開催し、3件の議題について話し合われました。

開催期日	議題・協議事項
令和2年5月21日(木)	新型コロナウイルス感染防止対策にかかる今年度の学校教育について
令和2年12月17日(木)	令和3年度重点的に取り組む教育施策について
	教育委員会の課題について ・不登校対策

3 教育機関訪問

毎年、岩沼市内の教育機関及び小中学校を訪問、視察し、教育委員と所属長との意見交換を行っております。令和2年度は次のとおり実施しました。

開催期日	視察先
令和2年10月29日(木)	岩沼西小学校体育館長寿命化改修工事進捗状況
	原遺跡
	岩沼中学校「デジタル教材を活用した授業」 洋式トイレ、冷水機、新型コロナウイルス感染防止対策確認

Ⅲ 事務事業の実施状況・点検・評価

点検・評価の対象とした事務事業は、令和2年度岩沼市教育基本方針の4つの分野における重点目標として掲げた下記の17項目としました。それぞれの実施状況について記載し、基本方針ごとに点検・評価を行いました。

記

岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、たくましさやさしさを培う学校づくりの推進
学びと潤いにみちた地域社会の実現
かおり高い芸術文化の醸成
感動と活力あふれるスポーツの振興
を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

令和2年度岩沼市教育重点目標

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

- 1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進
- 4 魅力ある教育環境づくり

学びと潤いにみちた地域社会の実現

- 1 社会教育推進体制の整備
- 2 学習機会の充実
- 3 家庭教育及び幼児教育支援の充実
- 4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- 5 社会教育団体活動の推進と支援
- 6 社会教育施設の有効活用
- 7 読書活動の推進

かおり高い芸術文化の醸成

- 1 芸術文化活動の推進
- 2 文化財の保護と活用の推進

感動と活力あふれるスポーツの振興

- 1 スポーツ団体活動の支援
- 2 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 3 スポーツ施設の整備と活用の推進
- 4 部活動支援事業の充実

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 校内研究や教職員研修の充実
(教育指導専門監派遣による校内研究充実支援事業)
 - 専門監訪問回数14回 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため回数減
- ② 個に応じたきめ細やかな指導の充実
(小学校支援事業)(中学校支援事業)
 - 小中学校指導助手6名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員14名を配置
- ③ 学習習慣の確立と定着を図る取組の推進
(「家庭学習の手引き」「家庭教育のために」の作成・配付事業)(学力向上推進事業)
 - 家庭学習の手引き：全児童・生徒へ配付
 - 家庭教育のために：新入生保護者配付
 - 岩沼学び塾：夏季・冬季休業期間及び放課後実施
- ④ 理科教育の充実
(只野文哉記念科学技術奨励事業「科学技術作品展」)
(副読本作成・配付事業「わたしたちの岩沼」「岩沼の自然」)
 - 科学技術作品展：10月市民図書館にて開催
 - 「わたしたちの岩沼」：小学3・4年生に配布
 - 「岩沼の自然」デジタル版：公開中
- ⑤ 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示
- ② 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業の充実
(プロポーザル事業、未来へはばたく学校づくり奨励事業、夢あこがれ支援事業等)
 - 小中学校へ計7,318,000円の助成
 - ※未来へはばたく学校づくり奨励事業は、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止
- ③ ユニーク先生活用事業の充実
(ユニーク先生活用事業)
 - 各小中学校の特色を生かし、多様な講師を招聘した授業を展開
- ④ 適切な進路指導及び地域と連携した社会性・職業観をはぐくむ教育の推進

(志教育及び夢☆あこがれプロジェクト事業)

○劇団四季こころの劇場 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

① 環境教育・ふるさと教育の推進

(総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業)

(岩沼に愛着を持つ人材育成事業)

○小中学校へ計 7,318,000 円の助成

○里山体験学習の開催 (岩小・玉小・西小・南小 1 年生)

○ふるさとの味、はらこ飯を味わおう! の開催 (玉小 6 年生・北中 3 年生)

○二木の松俳句大会の開催 (小学 5 年生～中学 3 年生対象) 出展作品数 2,055 点

② 国際理解教育の推進

③ 外国語活動及び外国語教育の充実

(外国語指導助手招致事業)

○外国語指導助手 (ALT) 5 名配置

○英語教育推進委員会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

④ オリンピック・パラリンピックを機会とした国家的行事への参加と交流の実践

(オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業)

○復興「ありがとう」ホストタウン南アフリカ共和国との交流

※その他イベントは、東京 2020 オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルス感染の影響により延期になったため、翌年に延期

(4) 教職員の資質・能力の向上

① 学校経営研修の充実

○小中学校校長会議及び教頭会議を毎月開催

② 若手教員の学びの場の提供

○初任者研修 2 回開催 (8 月・11 月)

○講師・指導助手研修 2 回開催 (8 月・10 月)

③ ICT 等教育機器の研修の充実と活用実践

○ i-Teacher 研修会 1 回開催 (12 月) ※新型コロナウイルス感染防止対策のため回数減

○ ICT 活用研修会 (校長対象) 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

④ 職能に応じた研修会の開催

○教務・研究主任者研修会 9 回開催

○指導助手研修会 1 回開催

○講師研修会 1 回開催

○教育相談研修会 1 回開催

※新型コロナウイルス感染防止対策のため回数減

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

(1) 自他の命と人権を大切に作る心をはぐくむ道德教育の推進

(教育指導専門監派遣事業)

- 道德教育研修会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(2) いじめ防止対策の推進

- いじめ問題対策推進委員会 2回開催
- いじめ問題対策推進連絡協議会 2回開催
- 岩沼市立学校「教育・いじめ防止フォーラム」 オンラインで開催(12月)
※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(3) 一人ひとりを大切にしたい生徒指導及び心のケアの充実

(小学校支援事業)(中学校支援事業)(子どもの心のケアハウス運営事業)

- スクールカウンセラーの配置(市内全小中学校)
- スクールソーシャルワーカーの配置(拠点校:岩中)
- いわぬま心のケアハウス「あいるーむ」の設置

(4) 安全指導の充実及び防災教育の推進

- 学校防災推進委員会の開催 3回開催(うち1回は紙面開催)
- 岩沼市総合防災訓練の参加 (7月)
- 通学路等安全対策推進会議 1回開催

(5) 生活習慣の改善及び食育の推進

- いわぬま健幸運動を小中学校にて実施(6月・11月)
- いわぬま食育ウィークの実施 (11月)

(6) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進

(運動体力向上事業)(部活動支援事業)(小学校保健事業)(中学校保健事業)

- 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業として小中学校に助成
- 各種検診の実施
- 岩沼市学校保健会へ補助 450,000円

3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進

(1) 「共に学ぶ」特別支援教育の展開

(特別支援教育総合推進事業)

- 特別支援連携協議会 2回開催
- コーディネーター等連絡会 2回開催

○特別支援教育研修会 1回開催

(2) 特別支援指導助手及び特別支援教育支援員の配置の推進

(小学校支援事業) (中学校支援事業)

○特別支援指導助手 12名配置

○特別支援教育支援員 14名配置

(3) 一人ひとりのニーズに応じた支援の充実

(個別の支援計画及び適切な就学指導)

○個別の支援計画作成率 100%

○障害児就学指導審議会 5回開催

(4) 発達障害に関する知識と対応の充実

(コーディネーター等連絡会及び研修会)

○社会福祉課と連携した研修会の開催(7月・12月)

4 魅力ある教育環境づくり

(1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進

(小学校就学環境整備事業) (中学校就学環境整備事業)

○就学援助費の支給

小学校(合計) 19,104,856円

中学校(合計) 16,749,234円

(2) 児童生徒一人ひとりに対応できるICT教育環境整備の推進

(小学校情報教育推進事業) (中学校情報教育推進事業)

○MIYAGI Style Ver.3までの機器整備完了

(タブレットPCを児童生徒一人1台配置するとともに、高速大容量ネットワーク環境を構築し、個別最適化された学習者主体の学習環境を整備)

(3) 外国語指導助手(ALT)活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進

(外国語指導助手招致事業)

○外国語指導助手(ALT) 5名配置

○英語教育推進委員会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(4) 小・中学校指導助手、特別支援指導助手及び特別支援教育支援員配置の推進

(小学校支援事業) (中学校支援事業)

○小中学校指導助手6名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員14名を配置

(5) 教員が子どもと向き合う時間の確保（働き方改革）

- 在校時間調査
- ハイシーズンとオフシーズンを意識したメリハリのある部活動
- 学校事務共同実施の効率化

(6) 教育相談体制の充実（不登校児童生徒の居場所の確保、東日本大震災及びその後の社会環境変化に伴うストレスを軽減するための心のケアの充実）

(小学校支援事業) (中学校支援事業)

- スクールカウンセラー（全小中学校へ配置）
- スクールソーシャルワーカーを拠点校の岩中へ配置
- 翌年度就学児童を対象とした就学相談会の実施（8月～9月）

(7) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進

(宮城教育大学・仙台大学・東北福祉大学等との連携及び地域連携推進事業)

- 岩沼学び塾（新型コロナウイルス感染防止対策のため大学生への依頼中止）
- 中学校総合体育大会における支援

(8) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進

(学校評議員及び地域連携推進事業)

- 学校評議員 31名委嘱
- ふれあいパトロール隊員 80名登録 ※研修会は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止

(姉妹都市高知県南国市訪問団との交流事業：南国市から岩沼市へ訪問)

中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(姉妹都市高知県南国市教育委員会の事業視察：岩沼市から南国市へ訪問)

中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

- 南国市立十市小学校と玉浦小学校による、オンライン防災学習交流会の実施

(11月)

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業の点検・評価

総合的な学習の時間・特色ある学校づくり、ユニーク先生活用事業は、福祉や農業、防災に関するゲストティーチャーを招くなどして、各校の総合的な学習の時間の充実等に寄与した。新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となるものや例年とは違う形での実施となったものもあったが、できるだけ工夫をしながら事業を推進するよう努めた。

さらには、岩沼学び塾の開催や各種指導助手、特別支援教育支援員の配置は、児童生徒の学力の向上と、個に応じたきめ細やかな指導の充実に大いに役に立っている。

学習面のみならず、児童生徒の心のケアの充実にも努めた。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置に加え、令和元年7月に設置した、いわぬま心のケアハウス「あいるーむ」における支援など、様々な要因により心のケアを必要とする児童生徒の学校復帰や自立支援に取り組んでいる。これらの事業は、児童生徒、保護者の心の安定につながっていると考える。

また、オンラインで開催した「教育・いじめ防止フォーラム」は、各校の教育活動の特色を共有することはもちろんのこと、いじめ撲滅へ向けての市内全学校挙げての強い意志を示すことができたと考える。

教職員の資質向上にも力を注いだ。校内研究充実支援事業やICT活用に関する研修会をはじめ、各種教職員研修の実施は教職員から好評を博した。

学校づくりに関する各種取組は、一定の成果を上げており、事業は概ね順調と判断した。

学びと潤いにみちた地域社会の実現

1 社会教育推進体制の整備

(生涯学習推進事業)

- 社会教育委員会議の開催 2回開催(6月・1月)
- 生涯学習振興事業助成金の交付 1団体、12個人 290,000円

2 学習機会の充実

(生涯学習推進事業)(放課後子ども教室推進事業)

- ジュニア・リーダー初級研修会の開催 15名参加
- ジュニア・リーダー体験会の開催(子ども合宿代替事業) 7名参加
- コラボスクール(里山体験学習) 5回開催
- 電子顕微鏡体験教室の開催 6日間実施81名参加
- 「ふるさとの味、はらこ飯を味わおう!」の開催(玉小6年生、北中3年生対象)
- 二木の松俳句大会の開催(小学5年生~中学3年生対象) 出展作品数2,055点
- 「スタンウェイに触れてみよう」の開催 1日間実施10組参加

3 家庭教育及び幼児教育支援の充実

(生涯学習推進事業)(放課後子ども教室推進事業)

- 東部のびやか教室の開催 14名参加
- 西部のびやか教室の開催 42名参加
- 南部のびやか教室の開催 31名参加
- 北部のびやか教室の開催 20名参加
- 子育て、親育ち講座 2回開催

4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進

(青少年室相談事業)(成人式開催事業)

- 相談件数 7件
- 街頭巡回指導件数 30件
- 小中高校生への声掛け件数 248件
- 有害広告物撤去件数 0件
- 子ども110番の家の設置件数 238カ所
- 少年の主張の開催 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため
- 成人式の開催 344名参加
- 青少年健全育成推進団体補助
 - ① 岩沼市ジュニア・リーダー協議会 24,000円
 - ② 岩沼地区少年補導員協会 36,000円
 - ③ 健やかな子どもを育てる岩沼市民会議 284,000円

④ 岩沼市子ども会育成連合会	22,000 円
⑤ 岩沼市父母教師会連合会	50,000 円

5 社会教育団体活動の推進と支援

(生涯学習推進事業)

○社会教育団体補助

① 婦人団体連絡協議会	162,000 円
② ガールスカウト	16,000 円
③ ボーイスカウト	16,000 円

6 社会教育施設の有効活用

○市民会館・中央公民館	修繕費	16,343,041 円
○西公民館	修繕費	1,889,140 円
○市民図書館	修繕費	1,057,939 円

7 読書活動の推進

(図書館蔵書整備事業) (図書館運営事業)

- 利用登録者数：18,840 人 貸出者数：68,640 人 総貸出数：249,840 冊
- 入館者数：91,328 人 蔵書数：211,399 冊
- 市民図書館運営協議会 2 回開催
- 読み聞かせボランティアステップアップ講座 4 1 名参加
- 初心者向け読み聞かせ研修会 2 3 名参加
- 第 9 回文化講演会 4 0 名参加
- DVD 上映会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため
- 本のリサイクル市 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため
- 読み聞かせサークルによるおはなし会 (月 1 回～2 回開催)

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業の点検・評価

新型コロナウイルス感染症の流行により、例年の様な事業展開が難しい状況であった。その中でも感染防止対策を講じながら、地域の方々から協力をいただき、のびやか教室や里山体験学習などの事業を開催することができた。また、平成 28 年度より「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」として開始している「ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！」や「二木の松俳句大会」においても参加者に興味深く取り組んでいただくとともに、地域の方との協働による学習機会の充実を図ることができた。さらに、青少年健全育成として、子ども会育成事業への支援をはじめ、関係団体への補助金交付を行うことで、地域コミュニティの振興に努めた。

市民の学習環境の整備、学習機会の充実に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

かおり高い芸術文化の醸成

1 芸術文化活動の推進

(芸術文化振興事業) (生涯学習市民活動支援事業) (中央公民館学級・講座運営事業)
(中央公民館玉浦講座) (西公民館学級・講座運営事業)

(1) 芸術文化鑑賞機会の充実

○文化事業協会の主催事業の開催 2事業2公演 入場者数延べ743人

(2) 参加し、創造する地域文化活動の充実

○第32回市民文化芸術祭の開催 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

○第41回いわぬま市民交流フェスティバルの開催 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

○中央公民館学級・講座の開催 8教室251人の参加

○中央公民館玉浦講座の開催 4教室139人の参加

○西公民館学級・講座の開催 7教室122人の参加

○中央公民館社会教育団体登録数 49団体

○旧勤労青少年ホーム社会教育団体登録数 48団体

○西公民館社会教育団体登録数 51団体

○玉浦コミュニティセンター地域活動団体登録数 77団体

2 文化財の保護と活用の推進

(市史編纂事業) (文化財保護事業) (文化財発掘調査事業)

(1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備

○文化財保護委員会 2回開催

○ふるさと展示室において文化財企画展の開催 (第29回～第32回)

○出前授業 11回開催

○文化財めぐり 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(2) 岩沼市史の計画的な刊行及び文化財や歴史資料の調査と保存・活用

○岩沼市史2巻 通史編Ⅱ 近世の発刊

(3) 民俗芸能の保護・育成

○指定文化財等補助 ①竹駒奴 30,000円

②早股熊野神楽 30,000円

(4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進

○開発計画と埋蔵文化財の関わりについての協議書の提出件数 19件

(5) 原遺跡発掘調査の推進

○原遺跡第5次発掘調査

「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業の点検・評価

公民館においては、新型コロナウイルス感染症の流行により、例年のような事業展開が難しい状況であった。その中でも感染防止対策を講じながら、各種教室・講座を開催することができた。また、多様な社会教育団体に活動の場を提供するとともに、補助金交付等、生涯学習活動を積極的に推進した。

市民会館においても、新型コロナウイルス感染症の流行により、各種イベントを開催することができなかった。コロナ禍におけるイベントの開催方法については課題が残った。

文化財保護・活用については、岩沼市史の編纂に取り組むとともに、文化財の発掘調査を行った。特に原遺跡の第5次調査においては新たに知見を得た。

市民の多様な文化・芸術活動への支援、及び市が残すべき文化や歴史に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

- 文化部活動支援：吹奏楽部8種類の楽器の演奏指導（クラリネット、トランペット、サクソ、フルート、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ）
（4月～11月）中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため
（12月～3月）10回実施

「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業の点検・評価

総合体育館を拠点として、市民のスポーツ活動の支援と推進を図ることができた。一方、老朽箇所が顕著になってきている体育施設の、朝日山公園野球場及びテニスコートの改修や岩沼市総合体育館のトレーニング室と体力測定室・幼児体育室の空調設備修繕、岩沼市民体育センターと岩沼市陸上競技場のトイレ部洋式化等、計画的に実施することができた。

新型コロナウイルス感染症の流行により、スポーツ振興策としての各種イベントを開催することができなかった。コロナ禍におけるスポーツ振興策の実施方法については課題となった。

部活動支援事業では、運動部活動支援をより充実することができ、文化部活動についても支援事業をスタートすることができた。

指定管理者制度を活用した市内9つの体育施設の管理運営について、施設整備や市民に対するサービス向上が適切に行われており、効果は大きいといえる。今後も指定管理者と連携して市内体育施設の管理・運営に努めていきたい。

IV 学識経験者の意見

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が令和2年度に実施した主な事務事業の執行状況の「点検・評価報告書」（令和2年度実績）について所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

「夢やあこがれをはぐくむ学校づくり」は、市内4小学校4中学校の特色ある学校づくりと児童生徒の学力向上・個に応じたきめ細やかな指導の充実に大いに役立っている。新型コロナウイルス感染防止のため、様々な制約の中で工夫を重ねながらの事業推進であったと思われる。今後とも新しい教育活動のありかたを模索しながら特色ある学校づくりを支援していただきたい。

校内研究充実支援事業やICT活用研修など各種職能研修等時宜を得た研修会は充実している。GIGAスクール構想に基づくタブレットPC機器等の整備も順調に進み、高速大容量ネットワーク環境を構築し個別最適化された学習者主体の学習環境が整備されたことから、今後は、その実際的な運用に係るソフト面の充実が望まれる。新しい学習指導体制確立のために、何よりも人材面での支援を行っていただきたい。

児童生徒の心のケアの充実にも努めていた。「教育・いじめ防止フォーラム」は、市内全校あげてのいじめ撲滅への決意表明と市内各校の特色ある教育活動の推進と共有化に有効である。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、いわぬま心のケアハウス「あいるーむ」等は、全小中学校の児童生徒、保護者の心の安定に大きく寄与している。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

新型コロナ禍のなか、制約の多い中での事業展開は大変な苦労があったことと思う。地域の先達と学校との協働による活動として行われている、のびやか教室や里山体験学習、はらこ飯体験学習、二木の松俳句大会などは、児童生徒にとって岩沼に愛着と誇りを持つことのできる原体験として定着してきている素晴らしい活動である。

青少年健全育成活動や社会教育施設と市民の学習環境・学習機会の整備充実を図る取り組みは順調に進められている。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

公民館・市民会館等の利活用は新型コロナ禍のなか、従来のような事業展開は困難であったと思われる。そんな中でも、市民の文化・芸術活動への旺盛なニーズを受け止め、各種教室・講座の開催、各施設の機能を活用した生涯学習活動の推進が行われた。市民への芸術文化に親しむ機会の提供の為にも、市民会館などでの新型コロナ禍における各種イベ

ントの開催方法等を検討吟味し、積極的に充実した事業を展開につなげていただきたい。

埋蔵文化財発掘調査では、特に原遺跡は第5次調査においては新たな知見を得ることが出来た。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

総合体育館を拠点とした市民スポーツの支援と推進、中学校における部活動支援事業、特に運動部活動支援の充実がなされていた。総合型地域スポーツの活動支援、文化部活動支援とともに、今後より一層の支援充実を図っていただきたい。各体育施設の修繕改修が計画的に実施されている。指定管理制度を活用した市内体育施設の管理運営の更なる充実をお願いしたい。

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が令和2年度に実施した主な事務・事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

特色ある学校づくりのために、各校のニーズに応じた講師の派遣・予算の確保等、様々な支援を行っていることは素晴らしい。コロナ禍のため、各種研修会等の減もあったが、工夫をしながら事業を推進されたことに敬意を表したい。特別支援教育支援員の増員、「教育・いじめ防止フォーラム」や「南国市との学習交流会」のオンラインによる開催、タブレットの「グループに1台から全員へ」の配布等は特に評価に値する。オンラインは、今後いろいろな展開ができそうで楽しみである。また、これから益々重要になる ICT 教育と英語教育を分けて項立てしたことに、意気込みが感じられる。

各校における不登校児童生徒の居場所の確保や心のケアハウス「あいるーむ」における支援は、少人数による活動等を通して、コミュニケーション力の育成や自分の良さの再発見が期待できる。「あいるーむ」の中学校卒業生は、引きこもりにならず、全員がほぼ希望の進学を果たしたようである。指導人員確保の問題もあるが、今後も、家庭及び学校との連携を密にしながら、支援体制を充実させてほしい。

記述されていないが、市内小中学校の水道蛇口が自動水栓化されたことは、コロナウイルス感染拡大防止に大きく貢献したと確信する。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

電子顕微鏡体験教室では、日数を増やして密を避ける工夫をしたり、子ども合宿を体験会に変えたりして、新型コロナウイルスへの対応に苦労された様子がうかがえる。コロナ禍で、のびやか教室や里山体験学習に地域の方々の協力が得られるか懸念されたが、ほぼ例年並みに実施できたことを嬉しく思う。これまでの実績を裏付ける岩沼の良い点である。今後も心豊かな指導者等の確保に努めてほしい。

読み聞かせボランティアステップアップ講座を、日本で一番売れている絵本の出版社として知られている童心社の副編集長を講師として行ったことは、参加者の大きな意欲付けになったと思われる。

市民会館・中央公民館の空調設備等の修繕費を大幅増で予算編成できたことも、コロナ対策として大きな成果である。次年度の事業展開が期待できる。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

大きなイベントは中止になったが、中央公民館学級・講座のように小規模化することにより、昨年度と遜色のない文化活動が展開できたことは喜ばしい。

原遺跡に関しては、4次調査結果の速報企画展が図書館で開催され、その内容が河北新報に掲載された。また、5次調査結果の現地説明会が行われ、市内外から200名近い愛好者が参加したことが市広報に掲載された。重要性と期待の大きさがうかがえる。今後も継続的に発信し、市民の郷土愛を育ててほしい。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

活力あふれるスポーツの振興のため、老朽化した体育施設の整備を計画的に行っていることは望ましい。ハード面の充実と並行して、利用者の声も反映した管理運営に今後も尽力してほしい。

新しく項立てした部活動支援事業については、指定管理者及び仙台大学等との協定に基づき、外部コーチの派遣指導を増やし着実に成果を上げている。生涯スポーツの推進のためにも、さらなる種目の拡充と指導者の確保・充実に努めてほしい。

岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和2年度実績）

令和4年1月発行

発行：岩沼市教育委員会

編集：岩沼市教育委員会 教育総務課

〒989-2480 岩沼市桜一丁目6番20号

電話 0223-22-1111（内線552） FAX 0223-24-0897

メール kyouiku-soumu@city.iwanuma.miyagi.jp